

あいさつやボランティア活動を通して自分も人も大切にできる

ねがい

〈目的〉

地域の方やPTA等との連携を図ったあいさつ運動や、校区内の公園、トイレの清掃活動に自発的に取り組むことで、なかまや保護者、地域の方々とふれあいや交流を深める。

〈内容〉

つながり

● あいさつ運動

毎月25日を3小中学校合同のあいさつ運動の日とし、地域の見守り隊や青少年健全育成連絡協議会、PTA等との連携を図ったあいさつ運動を推進しています。活動を全校生や保護者、地域に広げの中で、他者を思いやる心、いたわりの心、社会の一員としての自覚を育むことをねらいとしています。

● ボランティア活動

紫雲中学校では毎年、トイレ掃除に取り組んできました。本年度は、新校舎完成にともない、旧校舎とお別れとなるため、在校生だけでなく、その保護者と家族、また旧校舎に懐かしい思い出を抱かれる地域の方々の参加を広く募り、「旧校舎惜別記念ボランティア清掃」を開催しました。児童生徒たちにとっては、ボランティアを通してなかまや保護者・地域の方々とふれあい、交流を深め、ともに生きる喜びを確かめる機会となりました。



【あいさつ運動をしている様子】

● 集団づくりを推進する学級活動

- ・ 他者との関わり方を身に付ける指導時間を増やすとともに、共通の指導の場・計画の設定など、全校生の指導の一貫性を図っています。
- ・ 集団下校時や子ども会集会後の下校時に通学路や近隣の公園のごみを拾う活動を行っています。
- ・ 互いに学び合い、認め合い、喜び合える人間関係作りをめざしています。



【ボランティア清掃をしている様子】

〈成果〉

あいさつ運動やボランティア活動を通して、児童生徒は、他者を思いやる心、いたわりの心、社会の一員としての自覚が少しずつ育ってきたように思います。

今後は、これまで以上に自ら進んで活動する内容や、自らの未来を切り開いていくために必要な学級活動の在り方を工夫する必要があると考えています。

高まり